

第5次塩竈市長期総合計画 基本構想骨子（案）

平成22年1月
塩竈市

1. 主要課題素案について

『第4次長期総合計画総括・市民懇談会・市民意向調査を踏まえた素案』

■人口減少社会への対応

- 人口減少社会への対応（総）

人口減少、少子高齢化社会の進行による生産力の低下、地域コミュニティの衰退、社会保障負担の増大などは、これからのまちづくりに対して大きな影響を及ぼす要因となります。このため人口減少社会においても活力を維持できるまちづくりを構築していく必要があります。

■住みやすいまちづくり

- 共生社会の構築（総）
- 障害者が地域で安心して暮らし続けられるまちづくり（懇）
- 子ども達がのびのび育つまちづくり（懇）
- 元気な高齢者になるためのまちづくり（懇）
- 医療が充実したまちづくり（懇）
- 年代に応じた“住みやすさ”の提供（意）
- 医療福祉の充実（意）

「住み続けられるまち」を創っていくことは、これからのまちづくりには欠かせないことの出来ない課題となります。このため、子どもから高齢者までが安全・安心で快適に暮らせるまちを創り、地域の中で「塩竈で生まれ、育ち、暮らしていく」ことのできるまちづくりを進めていく必要があります。

■地域経済の活性化

- 地域経済の活性化（総）
- 水産業の振興（懇）
- 商業の振興（懇）
- 港湾の振興（懇）
- 観光の振興（懇）
- 地域経済・活力の振興（意）

アンケート結果にもあらわれるように、市内産業に対する市民の危機意識は非常に大きなものとなっています。大量生産、大量消費の時代が終焉を迎え、これからの産業は大きな転換期を迎えます。そのため、地域の資源や特性を活かした地域産業の育成を図り、第1次産業から、製造業などの第2次産業、商業・観光業の第3次産業などが一体となった地域経済を構築するとともに、グローバルな視点で「塩竈らしい」産業を育成していく必要があります。

■塩竈らしい個性ある都市の形成

- 都市の魅力の強化（総）
- 趣と風情のあるまちなかの創出（懇）

塩竈に住む市民が誇りに思え、いつまでも住み続けたいと思えるまちを形成するために、塩竈市のもつ歴史・文化・自然を生かし、個性的で魅力にあふれたまちづくりを進める必要があります。市民が住みよいまちであるとともに塩竈を訪問したいと思われるまちづくりを進めていく必要があります。

■市民力の強化

- 共生社会の構築（総）
- 次世代を担うひとづくり（総）
- 持続可能な財政基盤の確立（総）
- コミュニティの強化（懇）
- 地元学の推進（懇）
- 各年代に応じた学習機会の提供（懇）
- 20～40歳代が参加しやすい環境（懇）
- 子ども達に感動を与える（懇）
- 情報発信の工夫（懇）
- 活動団体間の連携を図る（懇）
- まちづくりへの市民参加の促進（意）

少子高齢化社会に対応し、安全で安心して暮らせる地域を形成するためには、コミュニティを活性化し、近隣で支え合うとともに、行政、NPO、民間事業者が協働により地域社会を構築し市民力を高めていく必要があります。一方では行政の経営力の強化も課題です。これからのまちづくりを担う次世代の人材育成は大変重要であり、地域社会との交流を深めながら、塩竈に愛着と誇りを持ったひとづくりを進めていく必要があります。

『素案に対する審議会からの意見』

■人口減少社会への対応に対して

- ・人口減少を抑制する取り組みが必要である。(→文章の追加)
- ・人口減少の中での住み良いまちづくりを進めることが必要。(→「住みやすいまちづくり」で反映)

■住みやすいまちづくりに対して

- ・広域の中で考えるという視点を入れて欲しい。(→文章の追加)
- ・人と人とのつながりを創出していく施策を考えていただきたい。(→文章の変更、施策への反映)
- ・住みやすい町と個性的な町は矛盾しているこの2つを求めては中途半端。(→両面での調整を図る(住む人のニーズに対応して、塩竈市の持っている地域資源を最大限に発揮していく))

■地域経済の活性化に対して

- ・製造業の誘致は難しい。(→施策への反映。(既存産業の振興を重点とする))

■塩竈らしい個性ある都市の形成に対して

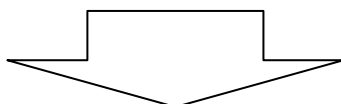
- ・住みやすいまちづくりと“塩竈らしい”はイメージ的には両方成り立たない気がする。(→両面での調整を図る)

■市民力の強化に対して

- ・塩竈にとって一番大事なのは人材の育成。市民の意識の醸成に取り組む必要がある。(→施策への反映)
- ・市民力の強化と行政の体質改善の話を別の項目に入れたらいいのではないか。(→一体として「地域力」として取り扱う)
- ・ボランティアの担い手と受手のコーディネート仕組みづくりを。(→施策への反映)

■その他の意見

- ・目ざわり、耳障りがいい言葉が並んでいるだけで中身が見えない。(→現況での具体的な問題点の記載)
- ・主要課題5項目の問題点の掘り下げも不十分。(→文章の修正。施策への反映(市民懇談会やアンケート結果を踏まえる))
- ・“塩竈らしい”は主要課題に記載するのではなく、具体的な実施方法で示していけばいいのでは。(→文章の修正。基本方針での記載)
- ・この5つの課題というのはどの街でも起こっている。課題は共通点でいいから課題に対する解のなかにこの街の持っているポテンシャルを生かす取り組みをしていったらどうか。(→施策への反映)
- ・地方分権の動きを踏まえた取り組みが必要。(→施策への反映(広域連携の考え方))
- ・市民、特に若年層にまちづくりに参加してもらう手法等を工夫する必要がある。(→具体施策への反映)



『第5次長期総合計画主要課題(案)』

■人口減少社会への対応

人口減少社会の進行は、生産力の低下や地域コミュニティの衰退など、これからのまちづくりに対して大きな影響を及ぼす要因となります。特に、若年層の流出を防ぐなど、急激な人口減少を抑制するとともに、このような社会においても活力を維持できるまちづくりを早急に構築していく必要があります。

■住みやすいまちづくり

「住み続けられるまち」を創っていくことがこれからのまちづくりに求められています。子どもから高齢者までが安全に、安心して健康に暮らせるまちづくりを、近隣市町村と連携の中で進め、「塩竈で生まれ、育ち、暮らしていく」ことのできるまちづくりを進めていく必要があります。

■地域経済の活性化

基幹産業である水産業を始め、市内産業の状況は非常に厳しい状況にあり、また低成長時代を迎え産業は大きな転換期を迎えます。そのため、地域の資源や特性を活かした産業の活性化に取り組むとともに、それぞれの産業が観光を基軸に連携を図ることが重要です。各産業が一体となって地域経済を構築し、グローバルな視点で産業を育成していく必要があります。

■個性と魅力ある都市の形成

塩竈に住む市民が誇りに思え、いつまでも住み続けたいと思えるまちを形成するために、塩竈市のもつ歴史・文化・自然を生かし、個性的で魅力にあふれたまちづくりを進める必要があります。

このことにより、市民が住み続けたいまち、塩竈を訪れたいと思われるまちづくりを進めていく必要があります。

■地域力の強化

少子高齢化社会に対応し、支え合いのまちづくりを進めるためには、コミュニティを活性化するとともに、NPO・民間事業者・行政などの相互の連携強化を図り、協働により地域社会を構築するなど、地域力を高めていく必要があります。

また、これからのまちづくりは、次世代を担う人材の育成は大変重要であり、地域社会との交流を深めながら、塩竈に愛着と誇りを持ったひとづくりを進めていく必要があります。

これらの新たな時代に対応した行政力の強化を図るとともに、地域社会における役割を確立していく必要があります。

2. 基本理念素案について※これからのまちづくりを考える上での、基本的な考え方

本市を取り巻く環境

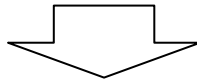
人口減少社会の到来、地球規模の環境問題、ライフスタイル・価値観の多様化、共生社会の到来、地方分権、地域経済の低迷、都市間競争、財政の硬直化

『審議会からの意見』

- ・ この街の持っているポテンシャルを生かす取り組み
- ・ 地方分権の動きを踏まえた取り組み（地域特性の活用）
- ・ 市民意識の醸成に取り組む必要がある
- ・ 市民の権利・義務・責任
- ・ 自力本願の社会
- ・ 受け手、担い手のコーディネーターの仕組みづくり・・・など

『市民懇談会からの意見』

- ・ 塩竈には観光資源がたくさんある
- ・ 持っている資源（東北区水産研究所、港湾）をまちづくりに活かす
- ・ 港を中心とした一体的な産業の連携
- ・ 自らが自主的にまちづくりに取り組むような仕組みづくりが必要である
- ・ 情報の一元化を行い、互いの活動を理解して地域活動の連携を図る
- ・ 日常的なコミュニケーションを活性化していく必要がある・・・など



基本理念1

地域の“力”を活かしたまち

人・産業・地域活動・文化・伝統などの様々な地域の魅力や資源を活用する

基本理念2

多様な主体による“協働”のまち

全ての市民、企業、市民活動団体等や行政が目的を共有し、自助・共助・公助の理念のもとに一体となって取り組む

基本理念3

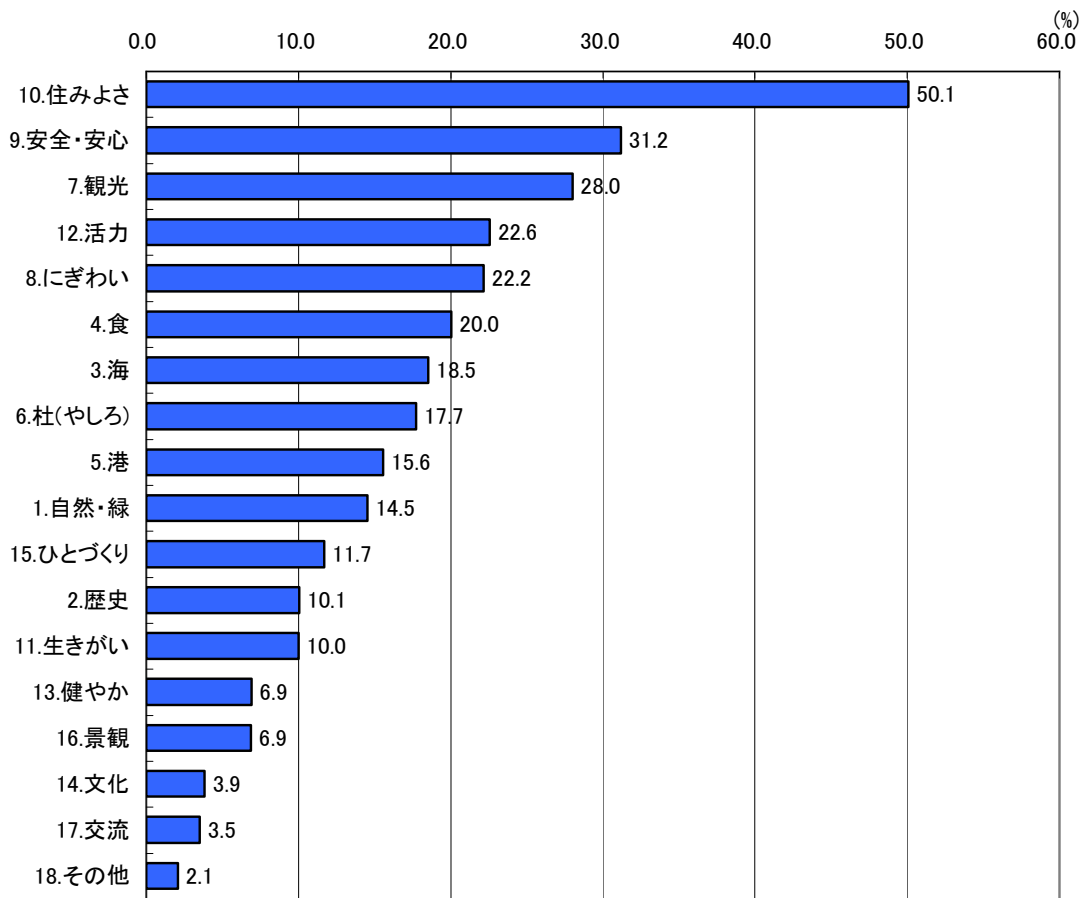
誰もが“いきいき”と暮らすまち

市民それぞれが地域社会の中での役割を自認し、いきいきと活動する

3. 目指すべき将来の姿

(1)まちづくりの将来像

■市民意向調査における「今後のまちづくりのキーワード」



■まちづくりの基本方針

- ①子どもから高齢者までが安心して暮らせるまちづくり
- ②海とみなとを活かした活力あるまちづくり
- ③地域特性を活かした趣と風情あるまちづくり
- ④市民が愛着と誇りを持ってこれからの塩竈市を支えるひとづくり

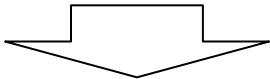
(2)将来フレーム

人口・産業指標など

4. まちづくりの基本方針

■主要課題「住みやすいまちづくり」から

- ・ 地域医療・福祉力の強化
- ・ 子育て環境の充実
- ・ 市民の健康づくり充実
- ・ 高齢者・障がい者福祉の実現
- ・ 市民の安全を守る社会基盤の充実



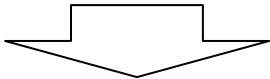
基本方針1：子どもから高齢者までが安心して暮らせるまちづくり

【施策展開の方向性】

- 市民・地域・事業者・行政の協働による地域医療福祉体制の構築
- 市立病院を核とした総合的な地域医療体制の構築
- 安心して生み育て、子ども達がのびのびと健やかに育つ環境形成
- 市民の健康づくりを支援する保健体制の充実
- 高齢者や障がい者が安心して暮らせる支援体制の構築
- 安全で安心して暮らせる社会基盤の充実

■主要課題「地域経済の活性化」から

- ・ 地域産業の活性化
- ・ 地域産業基盤の利活用
- ・ 産業間の連携の強化
- ・ 地域内消費の推進



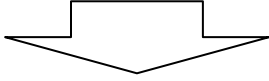
基本方針2：海とみなとを活かした活力あるまちづくり

【施策展開の方向性】

- 塩竈ブランドの確立や付加価値を高める水産業の振興
- 「海・みなと」を活かした地域産業の振興
- 観光を基軸に連携を図る地域産業の一体的な振興
- 地域に根ざした商店街の振興

■主要課題「個性と魅力ある都市の形成」から

- ・ 地域資源を生かしたまちづくりの推進
- ・ 快適性・利便性の高い生活基盤の充実
- ・ 住むことに誇りをもてるまちづくりの推進



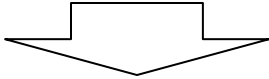
基本方針3：地域特性を活かした趣と風情あるまちづくり

【施策展開の方向性】

- 趣と風情をもった都市空間の形成
- 地球環境問題も視野にいれた地域環境の形成
- 誰にとっても利便性の高い生活基盤の提供
- 市民との協働による良好な生活空間の創出

■主要課題「地域力の強化」から

- ・ 地域コミュニティの活性化
- ・ 地域活動の活性化と連携の強化
- ・ 次世代を担う人材育成の推進
- ・ 行政経営力の強化



基本方針4：市民が愛着と誇りを持ってこれからの塩竈市を支えるひとづくり

【施策展開の方向性】

- 市民意識の醸成
- 地域活動の活性化や連携の支援
- 子ども達の基礎学力の向上
- 地域の担い手となる塩竈人の育成
- 新たな時代に対応した行財政基盤の再構築